事例No.	2121
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	宮崎県都城市

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	文化・スポーツ

事例内容・タイトル

遺跡調査におけるドローンを活用した写真の撮影

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

141 遺跡調査におけるドローンを活用した写真の撮影【宮崎県都城市】

事業の概要

○　都城市では、市内各地で遺跡調査が行われており、その調査における上空からの写真の撮影に当たって、ドローンを活用している。

○　従前は、専門業者と業務委託契約を締結し、ドローンを活用した航空写真の撮影を依頼していたが、経費削減のため、市が自前でドローンを操作し、航空写真を撮影する方法に変更した。

○　その結果、経費削減に加えて、従来は、契約期間内で決められた回数の撮影しかできなかったが、調査の進捗に応じたタイミングで撮影をすることができるとともに、撮影したいポイントをピンポイントで撮影できるようになり、調査の進捗管理に役立っている。





【参考情報】 人口：16.4万人
関連URL：https://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



平成30年度～令和2年度にかけて、大規模公共事業の発掘調査がありました。調査面積が広大であり、空中写真の撮影機会が多くなることが想定されました。業者委託と実機導入の予算を比較した結果、実機導入に至りました。

（都城市）



事業の近況を教えてください。



大規模な発掘調査だけではなく、小規模な調査や試掘・確認調査でも利用し、調査にあたってより多くの情報をより効率的に得ることができるようになりました。また、ドローンで撮影した動画を使って、遺跡の紹介動画を作成・公開するなど、幅広く活用しています。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



私は、文化財担当課の職員なのですが、最近では、施設や工事など、庁内他課からの撮影依頼も多くなっています。一つの課での導入のハードルが高い場合、庁内において多角的な活用が図れることをアピールするのも一案かと思います。

★担当：都城市教育委員会事務局 文化財課★

令和3年度事業費　10千円